



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月13日

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング 上場取引所 東  
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,779	△3.4	408	△34.7	440	△33.1	305	△30.5
2018年12月期第2四半期	5,982	35.4	626	—	659	845.2	439	△62.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 312百万円(△20.1%) 2018年12月期第2四半期 391百万円(△69.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年12月期第2四半期	52	14	—	—
2018年12月期第2四半期	75	13	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	18,152	—	12,255	—	67.5	—
2018年12月期	15,843	—	12,094	—	76.3	—

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 12,255百万円 2018年12月期 12,094百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	—
2019年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭 特別配当 5円00銭  
 2019年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,500	6.2	1,200	9.7	1,220	6.2	850	1.2	145	15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	6,392,736株	2018年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	525,826株	2018年12月期	536,544株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	5,859,393株	2018年12月期2Q	5,850,087株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出は弱含み、生産の一部に弱さが続くものの、設備投資は機械投資に弱さもみられるが緩やかな増加傾向にあり、雇用情勢は着実に改善、企業収益は高い水準で底堅く推移するなど、全体として緩やかに回復いたしました。

一方世界経済は、中国では景気は緩やかに減速しているものの、米国では景気は着実に回復が続き、欧州では景気は一部に弱さがみられるものの緩やかに回復するなど、全体として緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は5,779百万円(前年同四半期比3.4%減)となり、利益面につきましては、営業利益は408百万円(前年同四半期比34.7%減)、経常利益は440百万円(前年同四半期比33.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は305百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①巻線機事業

巻線機事業に関しては、受注残高が13,350百万円と過去最高をさらに更新するなど、受注活動は自動車関連向け案件を中心に好調に推移しているものの、売上は下期案件が多いことから、売上高は3,676百万円(前年同四半期比2.4%減)、開発案件の増加等によるコスト増もあり、セグメント利益は594百万円(前年同四半期比22.9%減)となりました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期等が大きく異なるため、受注時期や売上時期は、四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

#### ②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、工作機械や産業用ロボット用軸流ファンの受注が減少し、浴室照明器具も集合住宅向けの受注が低迷、拡販を目指していた全館空調システムが増加したものの全体の売上減少をカバーできなかったこと等から、売上高は2,102百万円(前年同四半期比5.1%減)、軸流ファンの売上減少が響き、セグメント損失は13百万円(前年同四半期は40百万円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 1. 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.7%増加し、13,540百万円となりました。これは主に、仕掛品が1,189百万円、現金及び預金が992百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が449百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、4,611百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が51百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、18,152百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて64.2%増加し、5,511百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,273百万円、前受金が757百万円それぞれ増加し、受注損失引当金が218百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、385百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて57.3%増加し、5,896百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、12,255百万円となりました。これは主に、利益剰余金が129百万円増加したこと等によるものであります。

### 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,057百万円（29.7%）増加し、4,617百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期に比べ1,001百万円（334.5%）増加し、1,300百万円となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加額1,162百万円、前受金の増加額766百万円等であります。また、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額1,601百万円、受注損失引当金の減少額218百万円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同期に比べ200百万円（78.8%）減少し、54百万円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出97百万円等であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べ0.2%増加し、176百万円となりました。支出の主な内訳は配当金の支払額174百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年2月14日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,724,795	4,717,241
受取手形及び売掛金	3,417,580	2,967,841
電子記録債権	989,924	1,000,434
商品及び製品	931,852	1,343,350
仕掛品	1,435,756	2,624,870
原材料及び貯蔵品	610,090	602,312
未収還付法人税等	72,952	1,626
その他	130,557	284,762
貸倒引当金	△2,401	△2,184
流動資産合計	11,311,107	13,540,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,926,772	2,921,145
減価償却累計額	△1,834,558	△1,873,975
建物及び構築物(純額)	1,092,214	1,047,169
機械装置及び運搬具	1,444,338	1,537,415
減価償却累計額	△1,035,040	△1,076,672
機械装置及び運搬具(純額)	409,298	460,742
工具、器具及び備品	1,215,435	1,254,736
減価償却累計額	△1,078,304	△1,110,472
工具、器具及び備品(純額)	137,130	144,264
土地	1,575,464	1,574,544
建設仮勘定	395,966	404,961
有形固定資産合計	3,610,075	3,631,682
無形固定資産		
ソフトウェア	80,616	80,146
電話加入権	3,043	3,043
その他	131	1,167
無形固定資産合計	83,791	84,358
投資その他の資産		
投資有価証券	333,469	344,153
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	258,132	256,108
繰延税金資産	219,816	261,184
その他	26,631	34,416
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	838,049	895,863
固定資産合計	4,531,916	4,611,904
資産合計	15,843,024	18,152,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,717,259	2,990,343
未払金	301,585	293,529
未払法人税等	33,037	203,770
前受金	777,633	1,534,696
賞与引当金	69,107	63,957
アフターサービス引当金	71,297	70,385
受注損失引当金	218,419	—
その他	167,573	354,800
流動負債合計	3,355,913	5,511,483
固定負債		
繰延税金負債	15,796	16,213
退職給付に係る負債	170,714	170,115
資産除去債務	19,618	19,778
その他	186,544	179,005
固定負債合計	392,674	385,112
負債合計	3,748,587	5,896,596
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,799,593	1,816,387
利益剰余金	9,499,606	9,629,408
自己株式	△376,254	△368,838
株主資本合計	12,173,761	12,327,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,340	83,852
繰延ヘッジ損益	20,971	26,089
為替換算調整勘定	△177,637	△182,150
その他の包括利益累計額合計	△79,325	△72,208
純資産合計	12,094,436	12,255,564
負債純資産合計	15,843,024	18,152,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,982,962	5,779,276
売上原価	4,129,142	4,276,786
売上総利益	1,853,820	1,502,490
販売費及び一般管理費	1,227,265	1,093,615
営業利益	626,554	408,874
営業外収益		
受取利息	1,605	603
受取配当金	4,614	4,877
受取賃貸料	6,932	6,778
為替差益	7,864	5,991
作業くず売却益	5,529	6,993
その他	7,376	9,004
営業外収益合計	33,923	34,249
営業外費用		
支払利息	—	96
賃貸費用	—	967
減価償却費	1,332	1,167
その他	12	4
営業外費用合計	1,345	2,236
経常利益	659,133	440,887
特別利益		
固定資産売却益	2,970	799
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	2,970	815
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	662,103	441,703
法人税、住民税及び事業税	231,748	182,071
法人税等調整額	△9,153	△45,855
法人税等合計	222,594	136,215
四半期純利益	439,508	305,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,508	305,487



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	439,508	305,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,984	6,511
繰延ヘッジ損益	17,221	5,118
為替換算調整勘定	△32,734	△4,513
その他の包括利益合計	△48,496	7,116
四半期包括利益	391,011	312,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,011	312,603

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	662,103	441,703
減価償却費	131,991	162,794
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15
固定資産除売却損益(△は益)	△2,970	△799
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△139,390	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,852	△599
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,724	2,023
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,567	△5,088
アフターサービス引当金の増減額(△は減少)	8,328	△687
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△495	△217
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△218,419
受取利息及び受取配当金	△6,220	△5,481
支払利息	—	96
売上債権の増減額(△は増加)	834,227	434,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,236	△1,601,247
仕入債務の増減額(△は減少)	165,199	1,162,453
未払金の増減額(△は減少)	△43,740	16,418
前受金の増減額(△は減少)	△431,802	766,838
その他	218,141	95,999
小計	1,086,439	1,250,435
利息及び配当金の受取額	6,234	4,433
利息の支払額	—	△96
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△793,354	45,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,320	1,300,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	64,800
有形固定資産の取得による支出	△245,677	△97,663
有形固定資産の売却による収入	3,020	3,762
無形固定資産の取得による支出	△12,641	△23,665
投資有価証券の取得による支出	△2,805	△1,818
投資有価証券の売却による収入	—	98
長期貸付金の回収による収入	3,354	54
その他	—	393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,749	△54,037
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△493	△154
配当金の支払額	△174,347	△174,617
その他	△1,022	△1,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,864	△176,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,602	△13,372
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△136,896	1,057,086
現金及び現金同等物の期首残高	5,136,862	3,560,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,999,965	4,617,241

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,767,099	2,215,863	5,982,962	—	5,982,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	312	312	△312	—
計	3,767,099	2,216,175	5,983,274	△312	5,982,962
セグメント利益	771,254	40,834	812,088	△185,533	626,554

(注)1.セグメント利益の調整額△185,533千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,676,979	2,102,296	5,779,276	—	5,779,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	502	502	△502	—
計	3,676,979	2,102,798	5,779,778	△502	5,779,276
セグメント利益又は損失(△)	594,835	△13,003	581,831	△172,956	408,874

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△172,956千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。